



DWELL

T O S H I R O H I K E G A M I

—棲息すること— 空間デザインの未来展

A MICRO CLIMATE IN A MICRO BIOSPHERE “微小生命圏における微小環境の最適化”
池上俊郎と関係者の記録と可能性 1981-2013

2013年11月1日[金]—17日[日] 京都芸術センター GALLERY 南・北

主催：京都市立芸術大学、DWELL-棲息すること-空間デザインの未来展 実行委員会 共催：京都芸術センター

講演およびリレートーク・スライドショー：2013年11月4日(月) 13:00-17:00 / フリースペース

architecture

京都市立芸術大学
Kyoto City University of Arts - founded in 1989 -



region

city

city

marine

river

“微小生命圏における微小気候”

快適な“生活環境と空気・熱環境気候”も適切な“微小”生活単位クラスターで解く。
クラスターを連結することにより巨大な都市や地域の環境負荷減少を最適化する。

“micro climate in a micro biosphere”

Appropriate “micro” lifestyle unit clusters creates comfortable climate for the “lifestyle environment and air quality environment. concept involves linking clusters to optimize the reduction of environmental bur for large urban areas and regions.



DWELL TOSHIROH IKEGAMI

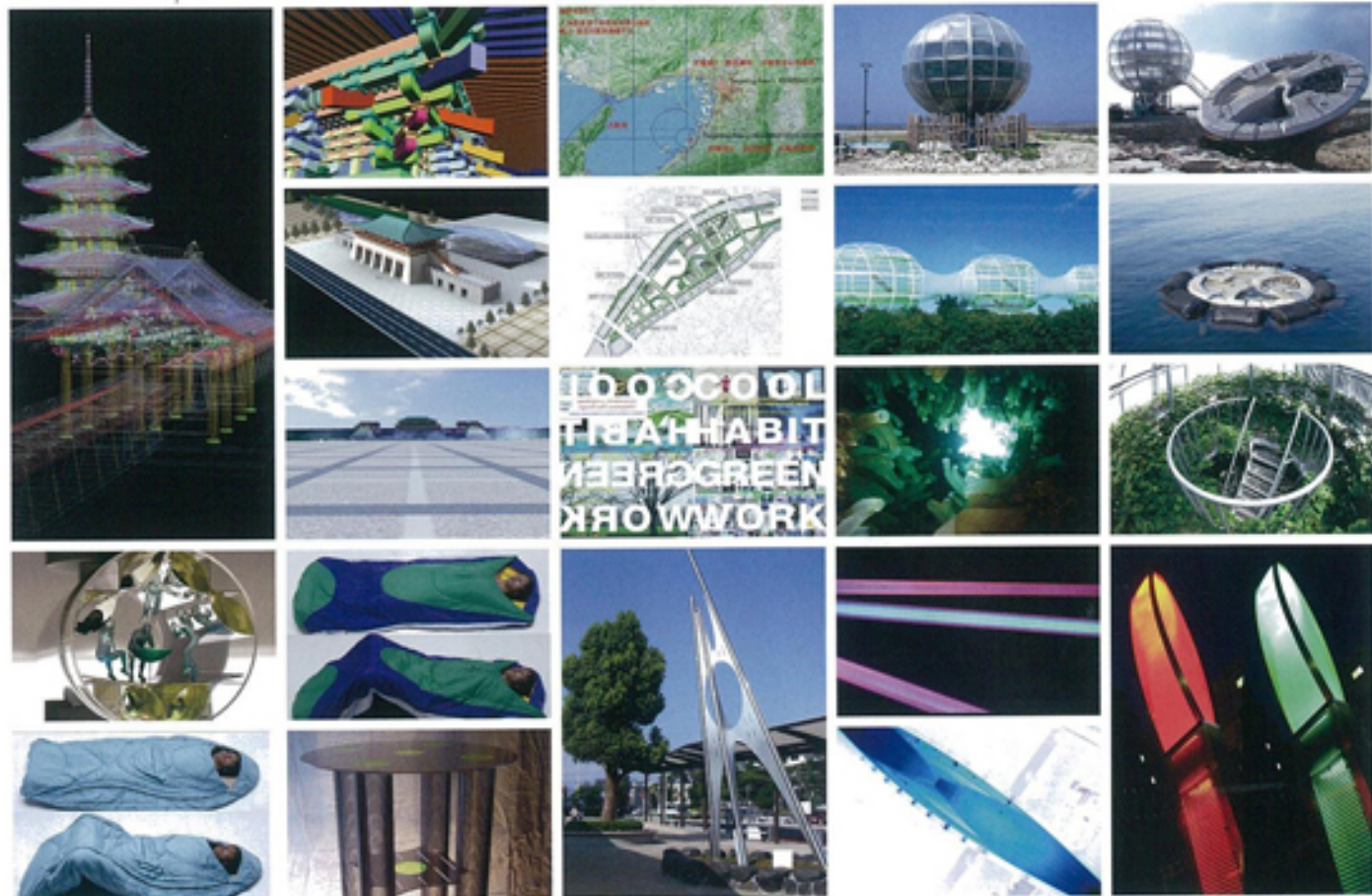
—棲息すること— 空間デザインの未来展

A MICRO CLIMATE IN A MICRO BIOSPHERE “微小生命圏における微小環境の最適化”
池上俊郎と関係者の記録と可能性1981-2013

2013年11月1日[金]—17日[日]

京都芸術センター GALLERY 南・北

講演およびルーフトーク・スライドショー: 2013年11月4日(月) 13:00-17:00 / フリースペース



気候変動を始め、地球環境問題は深刻化し、地域の様々な課題は単に人間だけでなく、生命体がいかに棲息するかが地球規模で問われています。建築や都市、室内外にわたる空間デザインは、基本的に日常に住む人間活動を対象としてきました。このような時代にあって、空間デザインの目標は、“微小生命圏における微小環境の最適化-A MICRO CLIMATE IN A MICRO BIOSPHERE”であるといえます。池上俊郎は、領域の異なる関係者とカテゴリーを横断して空間デザイン実践と研究を、30数年進めてきました。

南ギャラリーでは、住宅、建築、都市・地域計画、インテリアデザイン、ランドスケープデザイン、プロダクトデザイン等の空間デザインの実践を概観します。北ギャラリーでは、2000年以降進めて来られた“過去-未来-現在”の3視点からの下記の研究と社会実践を概観し、“棲息すること”を原点とする“空間デザインの未来”を探ります。1:“過去から何を学ぶか”、2:“宇宙に向かう未来の人間の可能性について”、3:“万物の棲息不可能を予測させる環境問題の深刻化にあって、現在をいかに生き延びるか”。デザインは、“構想-技術-美学”で構成されます。形態-空間には、常に詳細な仕上げがあり、美学的統合がなされます。

本展覧会は、空間デザインコンセプトの家具“PUBLIC CHAIR PROTOTYPE I”の発表より30年を迎え、池上俊郎と関係者との多岐に渡る具体的な空間デザイン活動を客観化し、“DWELL-棲息すること”の可能性を開示します。

主催: 京都市立芸術大学、DWELL-棲息すること-空間デザインの未来展 実行委員会
共催: 京都芸術センター
後援: 教王護国寺東寺、JAXA独立行政法人宇宙航空研究開発機構、JST-RISTEX独立行政法人科学技術振興機構-社会技術研究開発センター、JIPD公益財団法人日本デザイン振興会、JIA公益財団法人日本建築家協会、公益社団法人大阪府建築士会、大阪大学生産技術研究会-社団法人生産技術振興協会、NICO中国西安市国際古跡遺跡理事會西安国際保護中心、中国西安市東アジア文化産業研究センター
協力: 株式会社建築資料研究社、日建学院、太陽工業株式会社、FUJIWAKI DESIGN、特定非営利活動法人エコデザインネットワーク

京都芸術センター
〒604-8156
京都市中京区室町通錦雲閣下る山伏山町 546-2
TEL 075-213-1000 FAX 075-213-1004
<http://www.kac.or.jp/>
地下鉄烏丸線「四条駅」、阪急京都線「烏丸駅」
22番・24番出口より徒歩5分。
駐車券はございません。公共交通機関をご利用ください。



総合プロデューサー 池上 俊郎 Toshiroh IKEGAMI

京都市立芸術大学美術学部 教授
アーバンガウス研究所 主宰 建築家
NPO法人エコデザインネットワーク 理事長



1974大阪大学工学部建築工学科卒業。81池上俊郎建築事務所。86(株)アーバンガウス研究所。1992-2002グッドデザイン賞審査委員。“編集”の概念で、エコデザインライフスタイルを模索。理論的実証として建築を中心に都市計画、ランドスケープ・インテリア・プロダクトデザインの3次元空間エコデザイン活動を行う。代表的な仕事・研究は以下である。TV朝日波辺真史住宅探訪放映の“広尾の住器”。街並形成の堺市野野小学校景観整備事業。G-MARK受賞施設“PAGE FACTORY”、“ALPHA BLANCA”、阪神大震災復興の“神戸東町・江戸町ビル”。“工場型農業装置 SEASIDE FARM/海洋生物回帰装置 SEAFARM”は2005年同エコロジーデザイン賞受賞。2003-2006「既存都市・近郊自然の循環型再生大阪モデル」研究-JST-RISTEX(独)科学技術振興機構-社会技術研究開発センター循環型社会領域。2001-2008宇宙環境環境研究。宇宙への芸術的アプローチと夢SPACE FUTURE RESEARCH-JAXA(独)宇宙航空開発研究機構。2000-12教王護国寺東寺建築物デジタルアーカイブ研究。2008中国西安市「唐大明宮国家遺跡公園基本構想戦略提言」。国内外で“ECODESIGN IS DESIGN ITSELF” “進化と遺産-文化と美学”を講演。“A MICRO CLIMATE IN A MICRO BIOSPHERE-微小生命圏における微小環境の最適化構築”をテーマとする。世界33カ国・100都市歴訪。

www.kcuu.ac.jp/professors/ikegami-toshiroh/ www.urbangauss.com

DWELL-棲息すること-空間デザインの未来展 実行委員会構成メンバー
委員長: 京都市立芸術大学 美術学部 教授 池上俊郎 (総合プロデューサー)
委員:
建築部 京都市立芸術大学 学長 / 小山 祐平 京都市立芸術大学 美術学部長 / 色々木 重二 京都造形芸術大学 教授 / 新井 清一 精華大学 副学長 / 木村 博昭 京都工芸繊維大学 大学院 教授 / 八木 康夫 関西学院大学 教授 / 中村 美大 京都造形芸術大学 教授 / 山口 隆 大阪産業大学 大学院 教授 / 高橋 秀平 神戸大学 大学院 教授 / 藤原 健吉 京都市立芸術大学非常勤講師 FUJIWAKI DESIGN / 藤原 謙樹 京都造形芸術大学 情報デザイン学科 教授
graf代表 / 井上 和洋 京都市立芸術大学非常勤講師 アトリエサンク代表 / 齊藤 竜一 滋賀県立大学 准教授
齊藤 竜一 建築設計事務所 主宰 / 竹口 健太郎 大阪産業大学 特任教授 株式会社アルファビル / 山本 真子 京都市立芸術大学非常勤講師 株式会社アルファビル / 島田 隆 京都市立芸術大学 非常勤講師 島田隆建築設計事務所 代表 / 古賀 達也 京都市立芸術大学 非常勤講師 植物事務所 COCA-Z 代表 / 赤西 信隆 大阪経済大学 講師 / 寺野 秀 韓国 韓南理工大学 教授 / 田 昭宇 中国 西安市社会科学界西漢唐遺跡設計研究院 副院長 / 志月 孝之 NPO化からの建築を考える伊東建築塾 事務局員 / 張 振岳 韓国 水原市役所 都市デザイン課 Team Manager